

本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための留意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第1章 ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず本書の手順に従って操作してください。

第2章 快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

第3章 リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

第4章 困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

第5章 技術情報

ファイルシステムの変換方法や留意事項などについて説明しています。

目次

本書をお読みになる前に	5
お問い合わせ一覧	5
本書の表記	6

第 1 章 ご購入後の操作

1 セットアップ	10
WindowsNT セットアップ	10
2 ユーザー登録とバックアップ	13
ユーザー登録を忘れずに	13
リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー	13
ドライバのバックアップ	14
3 プレインストール仕様	15
ソフトウェア一覧	15
デバイス一覧	17
ドライブ構成	18

第 2 章 快適にお使いいただくために

1 コンピュータウイルス対策	20
VirusScan	20
コンピュータウイルスを発見した場合	21
コンピュータウイルスの被害届け	21
2 画面を設定する	23
解像度と色数	23
3 ネットワークを設定する	25
ネットワークの設定	25
4 Power MANagement for Windows	26
PMAN の機能	26

第3章 リカバリとインストール

1 リカバリ	30
リカバリの概要	30
リカバリ方法	31
2GB を超える区画にリカバリを行う場合	32
2 ソフトウェアのインストール	34
操作に必要なもの	34
ドライバのインストール	34
ブレイnstallソフトのインストール	42
添付ソフトのインストール	43

第4章 困ったときに

1 こんなときには	48
トラブル発生時の参照先	48
WindowsNT に関する Q&A	48
2 それでも解決できないときは	54
お問い合わせ前の確認シート	55

第5章 技術情報

1 その他の留意事項	58
2 ファイルシステムの変換	66

索引	67
----------	----

本書をお読みになる前に

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2000 年 5 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください。

- はじめよう！インターネット（@nifty）
 - ・ 入会 / @nifty サービス全般
ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
9:00 ~ 21:00（指定の休日を除く）
電話：0120-816-042
（携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902）
E-mail：feedback@nifty.com
 - ・ テクニカルサポート
ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
9:00 ~ 21:00（指定の休日を除く）
電話：0120-818-275
（携帯・PHS・海外の場合：03-5753-2373）
E-mail：feedback@nifty.com
 - ・ パスワード再発行 / 各種手続き / 解約
ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
9:00 ~ 21:00（指定の休日を除く）
電話：0120-842-210
（携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
E-mail：feedback@nifty.com
- NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12
ニフティマネジャーでの接続や操作方法について
ニフティ株式会社 ニフティマネジャー
サポートセンター
9:00 ~ 21:00（指定の休日を除く）
電話：0120-326-526
（携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
E-mail：feedback@nifty.com
- NIFTY SERVE（パソコン通信サービス）の利用に
関して
ニフティ株式会社 パソコン通信サポート
センター
9:00 ~ 21:00（指定の休日を除く）
電話：0120-22-1200
（携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
E-mail：feedback@nifty.com
- VirusScan for Windows NT
日本ネットワークアソシエイツ株式会社
テクニカルサポートセンター
9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00（土日、祝祭日を除く）
電話：03-3379-7770
- Adobe Acrobat Reader4.05
ソフトウェア提供会社様より無償で提供されてい
る製品のため、ユーザーサポートはございません。
ご了承ください。
- アプリケーション（カスタムメイドオプション）
各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- その他 FM シリーズの技術的なご質問・ご相談
FM インフォメーションサービス
（添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください）

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。

なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
      ↑  ↑
```

- ↑ の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キー（キーボード手前中央にある何も書かれていない横長のキー）を1回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROMドライブ]:¥setup.exe

画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「 - 」(ハイフン) でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓
「メイン」 - 「フロッピーディスク A」: 使用しない

CD-ROM ドライブ

CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売のオプションを用意してください。使用できるオプションについては、『システム構成図』をご覧ください。

オプションの使用方法についてはオプションのマニュアルをご覧ください。

お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2000 年 5 月現在のものです。変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください(→『修理サービス網一覧表』参照)。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

Microsoft® Windows® 2000 Professional を、Windows2000 と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION を、Windows98 と表記しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system を、Windows95 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 を、WindowsNT 4.0 または WindowsNT と表記しています。

Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V を、MS-DOS と表記しています。

VirusScan for Windows NT を、VirusScan と表記しています。

NIFTY MANAGER for Windows Ver 5.12 を、NIFTY MANAGER と表記しています。

Power MANagement for Windows を、PMAN と表記しています。

Adobe® Acrobat® Reader 4.05 を、Acrobat Reader と表記しています。

ドライバーズ CD / マニュアル CD をドライバーズ CD と表記しています。

機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記		
FMV-6866TX5	[TX]	TX シリーズ	本パソコン パソコン本体
FMV-6800SL5/6733SL5/6667SL5/6600SL5c/ 6566SL5c	[SL]	SL シリーズ	
FMV-6667CL5/6600CL5c/6566CL5c	[CL]	CL シリーズ	
FMV-6667CX5/6566CX5c	[CX]	CX シリーズ	
FMV-5533ML5	[ML]	ML シリーズ	

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

第 1 章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず本書の手順に従って操作してください。

1	セットアップ	10
2	ユーザー登録とバックアップ	13
3	プレインストール仕様	15

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う WindowsNT の初期設定(WindowsNT セットアップ)
について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

WindowsNT セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて WindowsNT セットアップを始めます。

留意事項

- WindowsNT セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください(カスタムメイドオプションを除く)。
正しくセットアップされないことがあります。
- WindowsNT セットアップを行う前にメモリを増設しないでください。正しくセットアップされないことがあります。
- WindowsNT セットアップが完了するまで、PCカードをPCカードスロットにセットしないでください。正しくセットアップされないことがあります〔CX〕。
- 〔TX〕で、USB キーボード (FMV-KB331/331S/332) をお使いになる場合は、BIOS セットアップ (→ 『ハードウェアガイド』参照) で USB キーボードを使用可能に設定してからリカバリを行ってください。
なお、USB キーボードは本体の USB コネクタに接続してお使いください。

セットアップ

1 本パソコンの電源を入れます。

しばらくすると、「Windows NT Workstation セットアップ」ダイアログボックスが表示され、セットアップが始まります。

2 「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」が表示されます。

「使用許諾契約」とは、本パソコンにあらかじめインストールされている WindowsNT を使用するうえでの契約を記述したものです。

- 3** 「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

 POINT

- ▶ 「同意しません」をクリックし、「次へ」をクリックすると、「...使用許諾契約に同意しないと指定しました。」と表示されます。「いいえ」をクリックすると「使用許諾契約」のダイアログボックスに戻ります。「はい」をクリックすると「致命的なエラー」ダイアログボックスが表示されるので「OK」をクリックしてください。次に表示されるダイアログボックスで「閉じる」をクリックすると、本パソコンが再起動します。

「名前と組織名」のダイアログボックスが表示されます。

- 4** 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。

組織名は省略できます。

コンピュータ名を入力するダイアログボックスが表示されます。

- 5** コンピュータ名を入力し、「次へ」をクリックします。

「管理者アカウント」ダイアログボックスが表示されます。

- 6** 「パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

 POINT

- ▶ パスワードでは大文字 / 小文字が区別されます。
- ▶ 「パスワード」を入力して「次へ」をクリックした場合、「戻る」をクリックして再びパスワードの設定画面に戻ることはできません。

「セットアップは終了しました」と表示されます。

- 7** 「完了」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されます。

- 8** 【Enter】キーを押します。

しばらくすると、「ログオンの開始」ダイアログボックスが表示されます。

- 9** 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

「ログオン情報」ダイアログボックスが表示されます。

- 10** 手順6で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

- 11** 「閉じる」をクリックします。

- 12** 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

「Windowsのシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

13 「コンピュータを再起動する」をクリックし、「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

14 ログオン後、「はじめよう！ FMV」アイコンをダブルクリックします。
「はじめよう！ FMV」ダイアログボックスが表示されます。

15 「OK」をクリックします。
自動設定が行われ、本パソコンが再起動します。アイコンが消えたら、設定は終了です。

重 要

- ▶ アイコンが消えるまで、キーボードやマウスを操作しないでください。

これで、WindowsNT セットアップが完了しました。カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、添付の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。

POINT

- ▶ 〔CX〕ではご購入時のボリュームコントロールがミュートに設定されています。
タスクバーのスピーカーアイコンをダブルクリックし、ミュートのチェックを外してボリュームを調整してください。

2 ユーザー登録とバックアップ

セットアップが終了したら、ユーザー登録、起動ディスクのコピーおよびドライバのバックアップを行ってください。

ユーザー登録を忘れずに

本パソコンが使用できる状態になったら、添付のユーザー登録カードに必要事項を記入し、投函してください。

ユーザー登録カードは、弊社やソフトウェア会社が自社製品のユーザーを把握し、さまざまな情報を提供する際に利用するものです。

ソフトウェアのバージョンアップ(ソフトウェアの機能を強化し、版数を上げること)時や電話相談などには、ユーザー登録をしていることが条件ですので、忘れずに投函してください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー

本パソコンに添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」には、リカバリ(→ P.30)に必要なファイルが含まれています。このディスクは、リカバリ時だけでなく、MS-DOS から実行するユーティリティの起動ディスクとしても、使用します。

次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク
- フロッピーディスクのラベル 1 枚 (購入してください)
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚 (購入してください)

コピー方法

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー(複製)を使用してください。

- 1 添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「3.5 インチ FD (A:)」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。
「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD (A:)」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。
メッセージに従ってコピーを作成してください。

- 5 コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。
- 6 コピーしたバックアップディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。
ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

ドライバのバックアップ

本パソコンに添付の「ドライバーズ CD」から、「バックアップディスク」を作成します。
「バックアップディスク」は、ドライバのインストールに使用します。

バックアップの内容

ソフトウェア名称	フロッピーディスクの枚数	備考
WindowsNT 4.0 ドライバ	1	
1801 LAN ドライバ	2	{TX}{SL}{CL}{CX}
8255x LAN ドライバ	1	{ML}
PRO/100 S LAN ドライバ	1	カスタムメイドオプションでセキュリティLANカードをお使いの場合

次のものを用意してください。

- ドライバーズ CD (添付されています)
- 1.44MB フォーマット済み 2HD フロッピーディスク(表を確認し、必要な枚数を用意してください)

バックアップ方法

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥fdbackup
「Fdbakup」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 用意したフロッピーディスクをセットします。
- 5 バックアップしないソフトウェアのチェックを外してから、「バックアップ開始」をクリックします。
- 6 「続行」をクリックします。
このあとは、メッセージに従って操作してください。

3 プレインストール仕様

WindowsNTセットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。
使用環境に合わせてシステム構成を変更してください。

ソフトウェア一覧

POINT

- ▶ ソフトウェアのインストール方法については、「[ソフトウェアのインストール](#)」([→ P.34](#))をご覧ください。

プレインストールソフト

名称	備考
Windows NT Workstation 4.0 (Service Pack6a)	「C:¥Winnt」ディレクトリにインストールされています。 操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプ、および添付の『Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。
電源切断用 HAL	WindowsNTシャットダウン時に自動的にパソコン本体の電源を切るためのコンポーネントです。
Internet Explorer 5.01	WWW ブラウザです。
MS-IME97	日本語変換ユーティリティです。
Windows 環境調査ツール (FM Advisor)	ご使用のパソコンの動作環境を調査し、アドバイスすべき情報がないかチェックします。また、パソコンの動作環境情報の取得ツールとしてもお使いいただけます。これらの情報を利用して問題の解決に役立てることができます (→ P.52)。
MO ディスクフォーマッタ ([TX] [SL] [ML])	光磁気ディスクのフォーマットやドライブ割り当てを行うユーティリティです。
Acrobat Reader	PDF (Portable Document Format) 書類を表示、閲覧、印刷できます。
FMV 診断	本パソコンの問題点を診断し、具体的にどこに連絡すればよいかなどをアドバイスします。診断所要時間は、ハードディスクの使用量によって異なりますが、約5～30分です (→ P.52)。

カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』や各アプリケーションマニュアルをご覧ください。

添付ソフト（未インストール）

POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。

名前	備考
MS-IME98	日本語変換ユーティリティです。
Internet Explorer 5.0	WWW ブラウザです。
Power MANagement for Windows	本パソコンの電源を制御するソフトウェアです（→ P.26）。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（→ P.20）。
FMKEEPER	パソコンのメモリ、ハードディスクや増設オプションなどの資産の情報を表示したり、パソコンを監視し発生した異常の詳細情報を参照したりできます。 なお、〔ML〕では使用できません。
FM-Menu	アイテムをクリックするだけで、簡単にプログラムを起動できます。また、特定のキー入力を抑止したり、Windows 機能を制限したりできます。これらの機能は、使用するユーザーごとに設定でき、本パソコンを使用するユーザーに応じて変更できます。ご使用前に必ず「Q&A集〔Fm-menu.htm〕および「ソフトウェア説明書〔Readme.txt〕」をご覧ください。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットのプロバイダである@niftyに入会できます。
NIFTY MANAGER	パソコン通信ソフトです。使用方法については、NIFTY MANAGER のヘルプをご覧ください。
Packet Protect	セキュリティ対応の LAN カードをお使いの場合、リカバリに必要なソフトウェアです。

デバイス一覧

デバイス	名称	備考
CD-ROM	IDE CD-ROM (ATAPI 1.2)	CD-R/RW ドライブ (カスタムメイド オプション) も同様
SCSI	{ TX } { SL } { CL } { CX } Symbios Logic C810 PCI SCSI Host Adapter { ML } Symbios Logic PCI (53c8XX)	SCSI カード (カスタムメイドオプション)
キーボード	PC/AT 106 日本語 (A01) キーボード	
ディスプレイ アダプタ	{ TX } RAGE 128 GL 4X (日本語) { SL } ATI RAGE 128 Pro 4XL (Japanese)、または Intel(r) 82810 82810-DC100 82810E or 82815 Graphics Controller { CL } { CX } Intel(r) 82810 82810-DC100 82810E or 82815 Graphics Controller { ML } ATI RAGE LT PRO AGP 2X (日本語)	解像度 / 色数 ({ CX } 以外) : 800 × 600 / 65536 色 解像度 / 色数 ({ CX }) : 1024 × 768 / 65536 色 リフレッシュレート : 60 ヘルツ
ネットワーク アダプタ	{ TX } Intel(R) 82559 Fast Ethernet LOM with Alert on LAN2 * { SL } { CL } { CX } { ML } Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	プロトコル : NetBEUI 識別 : WORKGROUP
フロッピーディスク	3 モード	1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/640KB の各 容量のフロッピーディスクを読み書きでき ます。

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 2GB	FAT (FAT16)
D	[総容量] - [C ドライブの容量]	NTFS
E	CD-ROM または CD-R/RW ドライブ	CD-ROM または CD-R/RW 搭載時
Q	光磁気ディスクドライブ	

: カスタムメイドオプション ([CX] を除く)

FAT を NTFS に変換する方法については、[「ファイルシステムの変換」 \(→ P.66 \)](#)をご覧ください。

POINT

- ▶ [TX][SL][ML] では、オプションの光磁気ディスクドライブを増設した場合も、光磁気ディスクドライブは Q ドライブに割り当てられます。
- ▶ 光磁気ディスク媒体に 2 つ以上の区画がある場合は、2 つ目以降の区画にドライブ割り当てが必要です。「MO ディスクフォーマッタ」を使用して、割り当てを行ってください。
- ▶ NTFS に変換した場合、WindowsNT 4.0、Windows2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。
- ▶ 各ファイルシステムにアクセスできる OS は、次の表のとおりです。

	WindowsNT 4.0		Windows2000	Windows98	Windows95 OSR2 以降
	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前			
WindowsNT の NTFS	○	○	○	×	×
Windows2000 の NTFS	○	×	○	×	×
FAT32	×	×	○	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

- ▶ 4GB 以上に割り当てられた NTFS のパーティションに対しては、NTFS の圧縮機能は利用できません。利用するには、ディスクアドミニストレータなどを使用して 4GB 未満のパーティションを作成する必要があります。
- ▶ 標準搭載のハードディスクは、Ultra DMA/33 ([CX][ML])、Ultra DMA/66 ([TX][SL][CL]) に設定されています。
- ▶ [TX][SL][CL] で、セカンダリ IDE が標準搭載の CD-ROM ドライブ (カスタムメイドオプションで CD-R/RW ドライブを選択した場合は CD-R/RW ドライブ) のみの場合は、セカンダリ IDE についても DMA を設定できます (→ P.41)。ただし、カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブを選択している場合は、セカンダリ IDE の DMA を設定できません。DMA の設定は、チャンネル 0 (プライマリ IDE)、チャンネル 1 (セカンダリ IDE) の単位で設定されます。
- ▶ DMA 転送をサポートしていないドライブを接続して、DMA を設定した場合、正常な動作が保証されません。
- ▶ [ML] は、セカンダリ IDE の DMA は使用できません。

第 2 章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

1	コンピュータウイルス対策	20
2	画面を設定する	23
3	ネットワークを設定する	25
4	Power MANagement for Windows	26

1 コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの1つで、なんらかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖し、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりといった悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan が添付されています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

VirusScan はご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください（→ P.44）。

POINT

- ▶ 「VShield」を起動していると、アプリケーションを正常にインストールできなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「VShield」を使用不可にしてください。
 - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「VirusScan オンアクセスモニタ」をクリックし、「スキャン」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
 - 「VShield」アイコン（) がタスクバーに表示されている場合は、そのアイコンを右クリックし、「使用不可」をクリックします。
- ▶ VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、ハードディスクにあるプログラムを実行したり、検査中のフロッピーディスクを取り出したりしないでください。
- ▶ 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてから使用してください。
- ▶ VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル(DAT ファイル)と、検査プログラム(スキャンエンジン)を使用しています。DAT ファイルは以下のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。
<http://www.nai.com/japan/>
スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重 要

- ▶ コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準」(平成2年4月10日付通商産業省告示第139号/平成9年9月24日改訂通商産業省告示第535号)の規定に基づき、平成2年4月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会(IPA)に届け出ることとされています。届け出の書式は次ページのとおりです。

〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

情報処理振興事業協会

セキュリティセンター

ウイルス対策室 宛

TEL 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

E-mail virus@ipa.go.jp

(届出書)

住所

会社・団体名

部署

氏名

TEL

FAX

E-mail

コンピュータウイルスの被害(感染・発病)について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 発見場所(部署名または個人名)

2. ウイルス名称(内容)

(名称がわからない場合は症状を記載)

3. 発見年月日

年 月 日

4. 感染機種

機種 : 富士通FMVシリーズ(IBM互換機)

OS : ☐ Windows95

☐ Windows98

☐ WindowsNT

☐ Windows2000

ネットワーク

(チェックマークをつけてください。LAN接続以外は、スタンドアロンです)

: ☐ スタンドアロン(単体) ☐ LAN接続

5. 発見方法

ワクチンなどによる定期検査を行っている ⇒ 頻度(毎日・毎週 回/ 毎)

発見方法(

発見に利用したソフトウェア

(☐ VirusScan for Windows95/98/NT/2000(日本ネットワークアソシエイツ株式会社))

(☐ 上記以外 ⇒ 名称:

社名:

6. 推定される感染経路

感染元

☐ 他人から譲渡(国内)

☐ 電子メール(国内)

☐ 他人から譲渡(国外)

☐ 電子メール(国外)

☐ 雑誌などの付録

☐ 不明

☐ パソコン通信(BBS)

☐ その他(

☐ インターネット(ftp site, web site, NetNews)

媒体

☐ フロッピーディスク

☐ 電子メール添付ファイル

☐ CD-ROM

☐ その他(

☐ ダウンロードファイル

7. 被害状況

PC 台

HD 台

FD 枚

その他

8. 回復処置

回復方法(

回復に利用したソフトウェア

(☐ VirusScan for Windows95/98/NT/2000(日本ネットワークアソシエイツ株式会社))

(☐ 上記以外 ⇒ 名称:

社名:

投入人日

(人・ 日(0.5日単位で記述))

※ この届出はコンピュータウイルス対策基準(平成9年9月24日付通商産業省告示第535号)の規定に基づいています。届け出られた内容は被害の拡大及び再発の防止に活用しますが、記載されているプライバシーに関する情報を公表することはありません。

2 画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数を変更する方法と各機能について説明します。

解像度と色数

本パソコンでは、次の解像度、色数が選択できます。

解像度 (ピクセル)	色数	[TX]	FMV- 6800SL5	FMV- 6733SL5/ 6667SL5/ 6600SL5c/ 6566SL5c	[CL]	[CX]	[ML]
640 × 480	256 色 65,536 色 16,777,216 色	○	○	○	○	○	○
	True Color			×	×	×	
800 × 600	256 色 65,536 色 16,777,216 色	○	○	○	○	○	○
	True Color			×	×	×	
1024 × 768	256 色 65,536 色 16,777,216 色	○	○	○	○	○	○
	True Color			×	×	×	
1280 × 1024	256 色 65,536 色	○	○	○	○	×	○
	16,777,216 色 True Color			×	×		
1600 × 1200	256 色 65,536 色 16,777,216 色 True Color	○	×	×	×	×	×

：デジタルディスプレイ（DVI 出力）では、表示できません。

POINT

- ▶ ディスプレイの設定を変更する場合は、必ずテストを実行してから変更してください。
- ▶ テストせずにディスプレイの解像度や色数を変更して画面が表示されなくなった場合は、WindowsNTをVGAモードで起動し、再度ディスプレイの解像度や色数を変更してください。
- ▶ 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を大きくすると、設定できる色数は少なくなります。
- ▶ 解像度/色数の設定によっては、ディスプレイの調整が必要な場合があります（〔CX〕除く）。
- ▶ 画面の設定は、すべてのアプリケーションを終了させてから行ってください。
- ▶ ご使用のディスプレイによっては、表示位置が左右にずれる場合があります。この場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください（〔CX〕除く）。
- ▶ ご使用のディスプレイによっては、表示できない解像度があります。

留意事項

- テストビットマップの表示中は、マウスクリックおよびキーボード入力を行わないでください。画面の一部が正常に表示できなくなる場合があります。
- もし、上記現象が発生した場合は、WindowsNTを再起動してください。

3 ネットワークを設定する

ここでは、ネットワークの設定方法について説明します。

WindowsNT をセットアップしたあとに、お使いのネットワーク環境に合わせて設定を行ってください。以降の手順は、TCP/IP プロトコルを追加する方法です。

ネットワークの設定

- 1** 「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 「プロトコル」タブをクリックし、「追加」をクリックします。
「ネットワークプロトコルの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 3** 「ネットワークプロトコル」の「TCP/IP プロトコル」をクリックし、「OK」をクリックします。
「TCP/IP セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4** DHCP を使用する場合は「はい」を、使用しない場合は「いいえ」をクリックします。
「Windows NT セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
- 5** 次のように入力し、「続行」をクリックします。
c:\¥support¥i386
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「閉じる」をクリックします。
このあとは、メッセージに従って操作してください。
- 7** インストール終了後Windows NT Service Pack6aをインストールしてください
(→ P.40)。

4 Power MANagement for Windows

Power MANagement for Windows (PMAN) は、本パソコンの電源を制御するソフトウェアです。本ソフトウェアでは、「スケジュールによる電源の ON/OFF(自動シャットダウン)」、「電源スイッチによるシャットダウン(電源 OFF)」、「LAN 経由によるリモート電源 ON/OFF」の機能を使用できます。

PMAN はご購入時にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください(→ P.46)。

PMAN の機能

本ソフトウェアの主な機能は、以下のとおりです。

- スケジュール機能

カレンダースケジュールにより、パソコン電源の自動運転ができます。週間スケジュールの他、祝日、長期休暇などの特定日のスケジュールも可能です。スケジュールの設定は、「動作設定」を使用してください。

- 電源スイッチによる自動シャットダウン機能

パソコンの電源スイッチを押すだけで自動的にシャットダウンを行い、電源を切ります。インストール時は、本設定は有効になっています。

設定を無効にする場合は「動作設定」を使用してください。

- リモート電源制御機能

本パソコンに搭載されている Wakeup on LAN 機能と連携し、ネットワーク上の他のパソコンから LAN 経由で本パソコンの電源投入 / 切断(自動シャットダウン含む)を行うことができます。グループ指定(運用単位)により複数のパソコンを一括して電源投入 / 切断することも可能です。

本機能を使用する場合は、別売の「Power MANagement for Windows (コンソール)」が必要です。設定を行う場合は、「Power MANagement for Windows (コンソール)」の「運用設定」を使用してください。

- イベント連携機能

通常起動時、通常終了時(シャットダウン時)のイベントごとにユーザプロセス(プログラム、コマンドなど)を指定できます。イベント発生とアプリケーションを連携させることが可能です。たとえば、通常停止(電源切断)のイベント発生時にファイルの退避を行うといったようなアプリケーションの実行も可能です。イベントの設定は、「動作設定」を使用してください。

POINT

- ▶ 電源切断対応 HAL について

必ず電源切断対応 HAL を使用してください。使用しない場合、シャットダウン後の自動電源切断が行われません。

▶ シャットダウンについて

本ソフトウェアでは、パソコンの強制シャットダウンは行いません。このため、シャットダウン時にアプリケーションの終了を確認してくるプログラムがある場合は、終了の確認画面が表示された状態でキー入力待ち状態になります。

▶ DHCP について (リモート電源制御機能使用時のみ)

本ソフトウェアは、DHCP プロトコルに対応していません。必ず、固定 IP アドレスを使用してください。

▶ ダイアルアップアダプタが組み込まれている場合 (リモート電源制御機能使用時のみ)

ダイアルアップアダプタがプライマリとして組み込まれていることがあります。その場合は、「ネットワーク」ダイアログボックスからダイアルアップアダプタを削除し、本パソコンの LAN アダプタをプライマリに設定したあとに、PMAN のインストールを行ってください。

▶ スケジュールの設定について (スケジュール機能使用時のみ)

スケジュール機能において電源 ON/OFF 時刻の設定を行う場合、電源 OFF 時刻と電源 ON 時刻との間隔を 1ヶ月以内に設定してください。

▶ スケジュール切断確認画面について (スケジュール機能使用時のみ)

「切断確認画面表示時間」は、スケジュールによる電源切断時に切断の有無の確認画面を表示する時間を指定します。本設定はインストール時に 10 秒に設定されています。本設定時間を変更する場合には、本ソフトウェアをインストールしたフォルダ内にある「Rs232c.dat」ファイルをエディタ (メモ帳など) で開き、次に示す値を変更してください。切断確認画面表示時間の変更後は、本パソコンを再起動してください。変更前に「Rs232c.dat」ファイルをコピーしておくことをお勧めします。

```
COM1
009600
8
0
2
07
07000
000
```

010 → 切断確認画面表示時間 (秒単位 : 000 ~ 999)

▶ シャットダウン時間について

シャットダウン時にアプリケーションなどが終了処理を行う時間を確保する場合に本設定を行います。イベント連携時にアプリケーションの実行を行う場合などにアプリケーションの実行時間を想定して設定してください。本設定はインストール時に 0 秒に設定されています。シャットダウン時間を変更する場合には、インストールしたフォルダ内にある「Rs232c.dat」ファイルをエディタ (メモ帳など) で開き、次に示す値を変更してください。シャットダウン時間の変更後は、本パソコンを再起動してください。変更前に「Rs232c.dat」ファイルをコピーしておくことをお勧めします。

```
COM1
009600
8
0
2
07
07000
```

000 → シャットダウン時間 (秒単位 : 000 ~ 999)

```
010
```

▶ スケジュールの遅延について

スケジュール時間は、10 秒程度の遅れが発生する場合があります。

▶ スクリーンセーバーについて

本ソフトウェアを使用する場合、スクリーンセーバー名に「OpenGL」の表記があるスクリーンセーバーは使用しないでください。

第 3 章

リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

1 リカバリ	30
2 ソフトウェアのインストール	34

1 リカバリ

WindowsNT が起動されないなどの問題が発生した場合、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と「リカバリ CD-ROM」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（「[プレインストール仕様](#)」（→ [P.15](#)））に戻す作業です。

留意事項

- 次のドライバ、ソフトウェアについては、ご購入時の状態には戻りません。リカバリ後、個別にインストールする必要があります。
 - ・ カスタムメイドオプションのアプリケーション
 - ・ [ML] の SCSI ドライバ
- リカバリを行うとCドライブがフォーマットされ、Cドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- リカバリはCドライブ以外のドライブをフォーマットしません。ただし、以下の状態のハードディスクに対してリカバリを実行すると、2GB の FAT 領域を新たに作成するため、ハードディスクのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
 - ・ Cドライブの領域が2GBを超えているハードディスク
 - ・ CドライブがFAT16やNTFS以外のファイルシステムに設定されているハードディスク
- リカバリを行うと、CドライブはFATに設定されます。NTFSに変換していた場合は、リカバリ後再度変換してください（→ [P.66](#)）。
- オプションを取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- [TX] で、USB キーボード（FMV-KB331/331S/332）をお使いになる場合は、BIOS セットアップ（→『ハードウェアガイド』参照）でUSBキーボードを使用可能に設定してからリカバリを行ってください。
なお、USBキーボードは本体のUSBコネクタに接続してお使いください。

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

- 1** 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピー（→ [P.13](#)）
- 2** リカバリ（→ [P.31](#)）

リカバリ終了後

リカバリ後、必要に応じてドライバ、添付アプリケーションあるいはカスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールしてください（→ [P.34](#)）。

リカバリ方法

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の手順を説明します。

次のものを用意してください。

- コピーしたリカバリ CD-ROM 起動ディスク (→ P.13)
- リカバリ CD-ROM

ここでのリカバリ方法は、ハードディスクが 2GB 未満の区画の場合です。2GB を超える区画にリカバリを行う場合は「[2GB を超える区画にリカバリを行う場合](#)」(→ P.32) の手順を行ってください。

重要

- ▶ リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。

- 1** BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。
設定方法は、『ハードウェアガイド』をご覧ください。
BIOS の設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。
- 2** 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を書き込み可能な状態にして、セットします。
- 3** 本パソコンを再起動します。
「続けるにはどれかキーを押してください...」と表示されます。

POINT

- ▶ すでに「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」から起動したことがある場合は、上記メッセージは表示されません。手順 5 に進んでください。
- 4** 何かキーを押します。
本パソコンが再起動し、「WindowsNT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。
 - 5** 【1】キーを押します。
リカバリに関するメッセージが表示されます。
 - 6** メッセージをよく読み、何かキーを押します。
「ハードディスクの内容を全て初期化します。」と表示されます。
 - 7** 【1】キーを押します。
ハードディスクがフォーマットされたあと、「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM 1 枚目」をセットし、しばらくしたら「Y」キーを押してください。」と表示されます。

- 8 「リカバリ CD-ROM」をセットし、しばらくしたら【Y】キーを押します。
ファイルのコピーが始まります。
リカバリが終了すると「マスタイメージのリストアが正常に終了しました。」と表示されます。
- 9 CD-ROM とフロッピーディスクを取り出してから、本パソコンの電源を切ります。
- 10 再度本パソコンの電源を入れ、以降、第1章を参照して操作してください
(→ P.10)。

標準の LAN カードをお使いの方は、以上でリカバリは終了です。

カスタムメイドオプションでセキュリティ LAN カードをお使いの方は、続いてセキュリティ LAN の設定を行います。

セキュリティ LAN の設定 (カスタムメイドオプション)

セキュリティ LAN カードをお使いの場合は、リカバリ後にドライバのインストールが必要です。

インストール方法については、「C:\%Support%\Ipro100s」内にある Readme.txt をご覧ください。

2GB を超える区画にリカバリを行う場合

重要

▶ この作業を行った場合、ハードディスクはすべて初期化されます。

- 1 「リカバリ方法」の手順 1 ~ 4 (→ P.31) までを行います。
「WindowsNT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

- 2 【3】キーを押します。

- 3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
clearmbr
```

- 4 【Y】キーを押します。

- 5 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
cpart.exe 4096
```

POINT

- ▶ これは C ドライブを 4GB で作成する例です。
4GB 以外の大きさで作成する場合は、作成したい大きさを MB 単位で、数字の部分に指定してください。
2GB 以下、および 4GB を超える区画サイズを指定したときの動作は保証しておりません。

- 6** 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
本パソコンが再起動し、「WindowsNT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。
- 7** 【3】キーを押します。
- 8** 次のように入力し、【Enter】キーを押します。
`format c: /u`
- 9** 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
フォーマットが終了すると、「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 10** 何も入力しないで【Enter】キーを押します。
- 11** 次のように入力し、【Enter】キーを押します。
`restore`
リカバリが実行されます。
- 12** このあとは、「[リカバリ方法](#)」の手順9 (→ [P.32](#)) へ進んでください。

2 ソフトウェアのインストール

一部のドライバおよびアプリケーションのインストール方法を説明します。

操作に必要なもの

- ドライバーズ CD
- 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM
- 「Microsoft® IME98」の CD-ROM
- 「[ドライバのバックアップ](#)」(→ [P.14](#))で作成した「バックアップディスク」のうち、次のもの
 - ・ 「ドライバディスク for Windows NT(R) 4.0 V1.1 L10D」
 - ・ 「FMV-1801 LAN ドライバ V5.0 L20 ディスク 1」{ TX } { SL } { CL } { CX }
 - ・ 「Intel(R) 8255x-based PCI Ethernet LAN Driver for Windows NT(R) V4.02.25」{ ML }
 - ・ 「Intel(R) PRO/100 S LAN Driver for Windows NT(R) V4.02.25」(カスタムメイドオプションでセキュリティ LAN をお使いの場合)

POINT

- ▶ カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。
- ▶ 必要なドライバやアプリケーションをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a を必ずインストールしてください(→ [P.40](#))。
- ▶ インストール時に「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求された場合は、「c:\support\i386」を指定してください。

ドライバのインストール

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。
インストール手順は次の表の場所にあります。

ドライバ	機種	インストール手順の保存場所と ファイル名
SCSI ドライバ	{ TX } { SL } { CL } { CX }	「 SCSI ドライバのインストール { TX } { SL } { CL } { CX } 」(→ P.36) をご覧ください。
	{ ML }	「ドライバーズ CD」内の 「Update」フォルダ内の Readme.txt

ドライバ	機種	インストール手順の保存場所と ファイル名
ディスプレイ ドライバ	{TX}{ML}	「ディスプレイドライバのインストール{TX}{ML}」(→ P.36)をご覧ください。
	FMV-6800SL5	「ドライバーズ CD」内の ¥Nt40¥Atipro¥Disk1¥Readme4xl.txt
	{SL}(FMV-6800SL5を除く) {CL}{CX}	「ドライバーズ CD」内の ¥Nt40¥I810e¥Install.txt
サウンドドライバ	{TX}{CL}{CX}	「ドライバーズ CD」内の ¥Nt40¥Cs4281¥Install.txt
	{SL}	「ドライバーズ CD」内の ¥Nt40¥Cs4299¥Install.txt
	{ML}	「ドライバーズ CD」内の ¥Nt40¥Ymf724¥Install.txt
LAN ドライバ	{TX}{SL}{CL}{CX}	「LAN ドライバのインストール ({ML}を除く)」(→ P.38)をご覧ください。
	{ML}	「ドライバのバックアップ」で作成 した「バックアップディスク」内 の Readme.txt
	セキュリティ LAN カード (カ スタムメイドオプション)をお使い の場合	C:¥Support¥Ipro100s¥Readme.txt

この表以外のドライバについては、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt または Install.txt をご覧ください。

POINT

- ▶ ディスプレイドライバをインストールする前に、必ず Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。
- ▶ デジタルディスプレイをお使いの方へ ({CL})
ディスプレイドライバのインストールの前に「Fujitsu Digital LCD Utility」をインストールしてください。このユーティリティは、「ドライバーズ CD」の「Update」フォルダにあります。インストール方法については、「Update」フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。

SCSI ドライバのインストール [TX] [SL] [CL] [CX]

カスタムメイドオプションで SCSI カードを選択している場合、リカバリ後 SCSI ドライバをインストールしてください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「コントロールパネル」ウィンドウの「SCSI アダプタ」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ドライバ」タブをクリックします。
- 4 「追加」をクリックします。
「ドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「製造元」から「Symbios Logic」を、「SCSI アダプタ」から「Symbios Logic C810 PCI SCSI Host Adapter」を選択し、「OK」をクリックします。
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「OK」をクリックします。
- 7 「コピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
c:\support\i386
再起動メッセージが表示されます。
- 8 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

ディスプレイドライバのインストール [TX] [ML]

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「ディスプレイの設定」タブをクリックします。

POINT

- ▶ 「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックしてください。
- 5 「ディスプレイの種類」をクリックします。
「ディスプレイの種類」ダイアログボックスが表示されます。

- 6** 「アダプタの種類」の「変更」をクリックします。
「ディスプレイの変更」ダイアログボックスが表示されます。
- 7** 「ディスク使用」をクリックします。
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 8** 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
〔TX〕 [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥atigl
〔ML〕 [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥atixl
「ディスプレイの変更」ダイアログボックスが表示されます。
- 9** 「ディスプレイ」から次の項目を選択し、「OK」をクリックします。
〔TX〕 「RAGE 128 GL 4X (日本語)」
〔ML〕 「ATI RAGE LT PRO AGP 2X (日本語)」
「サードパーティドライバ」ダイアログボックスが表示されます。
- 10** 「はい」をクリックします。
ドライバがインストールされます。
- 11** 「ドライバは正常にインストールされました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。
「ディスプレイの種類」ダイアログボックスに戻ります。
- 12** 「閉じる」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
- 13** 「閉じる」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。
- 14** 「はい」をクリックします。
WindowsNT が再起動し、ログオンしたあと、「無効なディスプレイ設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 15** 「OK」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 16** 画面の解像度 / 色数などを設定します (→ P.23)。

POINT

- ▶ 解像度 / 色数を変更する場合は、必ずテストを実行してください。
- ▶ 「テスト」をクリックしないでディスプレイの解像度や色数を変更し、画面が表示されなくなった場合は、WindowsNT を VGA モードで起動し、再度ディスプレイの解像度や色数を変更してください。

LAN ドライバのインストール（〔ML〕を除く）

- 1** 「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 「アダプタ」タブをクリックします。
- 3** 「ネットワークアダプタ」のインストールされているアダプタをクリックし、「削除」をクリックします。
「続行しますか？」と表示されます。
- 4** 「はい」をクリックします。
「SETUP」ダイアログボックスが表示されます。
- 5** 「はい」をクリックします。
「ネットワーク」ダイアログボックスに戻ります。
- 6** 「閉じる」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。
- 7** 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
- 8** 「FMV-1801 LAN ドライバ V5.0 L20 ディスク 1」をセットします。
- 9** 「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
- 10** 「アダプタ」タブをクリックし、「追加」をクリックします。
「ネットワークアダプタの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 11** 「ディスク使用」をクリックします。
「フロッピーディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 12** 次のように入力し、「OK」をクリックします。
a:
「OEM オプションの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 13** 「Intel(R) PRO Adapter」を選択し、「OK」をクリックします。
- 14** 「閉じる」をクリックします。
TCP/IP を設定するダイアログが表示されたら、使用環境に合わせて設定してください。
詳細はネットワーク管理者に確認してください。
- 15** 再起動メッセージが表示されたら、フロッピーディスクを取り出して「はい」をクリックします。

3 モードフロッピーディスクドライバのインストール

3 モードフロッピーディスクドライバのインストールは、「バックアップディスク」から行います。

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2** 「ドライバディスク for Windows NT(R) 4.0 V1.1 L10D」とラベルの取られたフロッピーディスクをセットします。
- 3** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」の順にクリックします。
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。
- 4** フロッピーディスクの「¥3mode」フォルダに移動します。
- 5** 「floppy00.inf」を右クリックし、「インストール」をクリックします。

POINT

- ▶ 「floppy00」と表示される場合や、「floppy00」が複数表示される場合があります。これは、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」がチェックされているためです。Windows NT エクスプローラで「表示」メニュー→「オプション」の順にクリックし、設定できます。

ドライバがインストールされ、再起動メッセージが表示されます。

- 6** フロッピーディスクを取り出し、「はい」をクリックします。
WindowsNT が再起動すると、3 モードフロッピーディスクドライバが有効になります。

光磁気ディスクドライバのインストール

- 1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥moformat¥setup.exe

メッセージに従ってインストールを続けます。

Windows NT Service Pack6a のインストール

Windows NT Service Pack6a には、WindowsNT に対する新しい修正、以前にリリースされた Service Pack の修正が含まれています。ドライバなどをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM をセットします。

Internet Explorer が起動され、「Windows NT 4 Service Pack6」の CD-ROM の説明が表示されます。

POINT

- ▶ 目次の「リリースノート」の「SP6 リリース ノート」をクリックすると、Windows NT Service Pack6a の詳細な情報が参照できます。「リリースノート」を参照してからインストールを始めてください。
- ▶ 「Windows NT Service Pack6a Disc1」のCD-ROMをセットしてもInternet Explorerが起動されない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に次のように入力して「OK」をクリックし、手順7に進んでください。
[CD-ROMドライブ]:¥i386¥update¥update.exe

3 目次の「Service Pack 6 のインストール」をクリックします。

4 「Service Pack 6 のインストール (Intel 版)」をクリックします。

「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。

5 「このプログラムを上記の場所から実行する」をクリックし、「OK」をクリックします。

「セキュリティ警告」ダイアログボックスが表示されます。

6 「はい」をクリックします。

「Windows NT Service Pack セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

7 「同意する」をチェックし、「インストール」をクリックします。

メッセージに従ってインストールを続けます。インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されます。

8 「再起動」をクリックします。

POINT

- ▶ WindowsNT のバージョン情報は、次の手順で見ることができます。
 - 1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
 - 2 「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。
- ▶ 新しいドライバなどをインストールしたあとは、Service Pack6a を再度インストールしてください。

DMA の設定

ハードディスクに DMA の設定を行うことができます。設定できるチャンネルは、プライマリ IDE です。

■ 留意事項

- {TX}{SL}{CL} は、セカンダリ IDE に CD-ROM ドライブ (または CD-R/RW ドライブ) だけが接続されている場合、セカンダリ IDE を DMA に設定できます。
- カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブを選択している場合は、セカンダリ IDE の DMA を設定できません。
- DMA の設定は、チャンネル 0 (プライマリ IDE)、チャンネル 1 (セカンダリ IDE) の単位で行われます。DMA 転送をサポートしていないドライブを接続して、DMA を設定した場合、正常な動作が保証されません。
- {ML} はチャンネル 0 (プライマリ IDE) のみ DMA を設定できます。チャンネル 1 (セカンダリ IDE) の DMA を設定すると、正常な動作が保証されません。

■ 設定方法

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2** 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM をセットします。
Internet Explorer が起動され、「Windows NT 4 Service Pack6」の CD-ROM の説明が表示されます。
- 3** 「スタート」ボタン → 「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]: ¥support¥utils¥i386¥dmacheck.exe
「ATAPI DMA サポート」ダイアログボックスが表示されます。
- 5** 「DMA 検出状態」で「有効」をクリックし、「OK」をクリックします。
「警告」ダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「はい」をクリックします。
「完了」ダイアログボックスが表示されます。
- 7** 「OK」をクリックします。

以上で設定は終了です。再起動すると、DMA が有効になります。

設定が有効になっているかどうかを確認するには、再度 dmacheck.exe を起動します。

プレインストールソフトのインストール

FM Advisor のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmadv¥advisor¥setup.exe
メッセージに従ってインストールを続けます。

Acrobat Reader のインストール

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥ac¥acrd4jpn.exe
- 5 「次へ」を2回クリックします。
- 6 「情報」で「OK」をクリックします。
- 7 本パソコンを再起動します。

FMV 診断のインストール

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmvdiag¥enterprise¥disk1¥setup.exe
メッセージに従ってインストールを続けます。

添付ソフトのインストール

MS-IME98 のインストール

- 1 「Microsoft® IME98」の CD-ROM をセットします。
しばらくすると、「Microsoft IME98 セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「継続」をクリックします。
メッセージに従ってインストールを続けます。

Internet Explorer 5.0 のインストール

ご購入時には Internet Explorer 5.01 がインストールされています。また、「Internet Explorer 5.0」は「Windows NT Service Pack6a Disc1」に添付されています。
必要に応じて、Internet Explorer 5.0 をインストールしてください。

POINT

- ▶ Internet Explorer のインストールは、Windows NT Service Pack6a のインストール後に行ってください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM をセットします。
「Microsoft Windows NT 4 Service Pack 6」ウィンドウが表示されます。
- 3 目次の「Microsoft Internet Explorer 5」をクリックします。
- 4 IE5 のインストール (Intel 版 X NEC PC-9800 シリーズを含みます) をクリックします。
「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「このプログラムを上記の場所から実行する」を選択し、「OK」をクリックします。
- 6 「セキュリティ警告」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「はい」をクリックします。
- 8 「使用許諾」を読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

9 インストール方法を選択し、「次へ」をクリックします。

 POINT

- ▶ 「セキュリティ警告」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

コンポーネントのインストールが開始されます。
終了すると、再起動メッセージが表示されます。

10 「完了」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

11 WindowsNT にログオンします。

「Windows Update」ダイアログボックスが表示され設定が行われます。
デスクトップが表示されたら、インストールは終了です。

VirusScan のインストール

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥Nt40¥Vsnt¥setup.exe

インストールが始まります。次のポイントを参照し、メッセージに従って操作してください。

 POINT

- ▶ 「サービスアカウント情報」ダイアログボックスでは、管理者権限を持った「ユーザー名」とその「パスワード」を入力してください。

5 インストール終了後、次のファイルをコピーします。

- コピーするファイル

[CD-ROMドライブ]:¥Nt40¥Vsnt¥Update¥Clean.dat

[CD-ROMドライブ]:¥Nt40¥Vsnt¥Update¥Names.dat

[CD-ROMドライブ]:¥Nt40¥Vsnt¥Update¥Scan.dat

- コピー先

C:¥Program Files¥Network Associates¥VirusScan NT

POINT

- ▶ ファイルのコピー先は、VirusScan のインストール先のディレクトリが標準（初期値）である場合です。変更した場合は読み替えてください。
- ▶ 「ファイルのコピーのエラー」ダイアログボックスが表示された場合は、タスクバーの「VShield」アイコンを右クリックし「使用不可」をクリックしてから、再度ファイルをコピーしてください。
- ▶ 「ファイルの上書きの確認」ダイアログボックスが表示された場合、「はい」をクリックしてください。

FMKEEPER のインストール（〔ML〕 除く）

インストール手順につきましては、「ドライバーズ CD」の「Update」フォルダにある「Etc」フォルダの「Fmkeeper」フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。

FM-Menu のインストール

- 1** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmmenu¥setupfm-menu.exe

メッセージに従ってインストールを続けます。

はじめよう！インターネット（@nifty）のインストール

- 1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥niftysgn¥niftysgn¥Setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

NIFTY MANAGER のインストール

重要

- ▶ セットアップの途中でインストールが止まってしまうことがあります。そのような場合は、Internet Explorer を起動し、何らかの HTML ファイルを開いてください。セットアップに戻ります。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥nifty¥niftynim¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

PMAN のインストール

POINT

- ▶ リモート電源制御機能を使用する場合は、インストール時にあらかじめIPアドレス、サブネットマスクの設定、TCP/IP プロトコルおよび NetBEUI のインストールが必要です。また、使用時には BIOS セットアップで以下に示す項目を設定してください([TX] 除く)。
[SL][CL] の場合
 - 「省電力」メニュー内
「自動ウェイクアップ」 - 「LAN によるウェイクアップ」: 使用する
- [CX]
 - 「省電力」メニュー内
「PCI PME によるウェイクアップ」: 使用する
- [ML] の場合
 - 「詳細」メニュー内
「省電力設定」 - 「PCI PME によるウェイクアップ」: 使用する
- ▶ PMAN の詳細については、「[Power MANagement for Windows](#)」(→ P.26)をご覧ください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 4 「名前」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥pman¥pmanfull¥setup.exe

メッセージに従ってインストールを続けます。

4

第4章

困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

- 1 こんなときには 48
- 2 それでも解決できないときは 54

1 こんなときには

ここでは、WindowsNT の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

WindowsNT に関して

添付の WindowsNT のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

WindowsNT に関する Q&A

Q ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバが正しく動作しない

A 各ドライバをインストールし直す必要があります。

お使いの機種に対応する各ドライバは、「[デバイス一覧](#)」(→ P.17) でご確認ください。
インストール方法については、「[ドライバのインストール](#)」(→ P.34) をご覧ください。

Q モデムの追加方法は？

A 次の手順で追加してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「コントロールパネル」ウィンドウの「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「新しいモデムのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- 4 「製造元」からモデムメーカーを、「モデル」から該当するモデムを選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

- ▶ モデムにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから、「ディスク使用」をクリックし、該当するモデムを選択します。

- 5 「選択したポート」をクリックし、表示されている COMn (n には数字が表示されています) をクリックして、「次へ」をクリックします。
- 6 「完了」をクリックします。
「モデムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
- 8 所在地の設定を行い、「OK」をクリックします。
国 / 地域番号：現在お使いになっている国を選択します (例：日本)。
市外局番：現在お使いになっている場所の市外局番を入力します (例：03)。
外線発信番号：内線を使用している方で、外線にかける場合に必要番号を入力します (例：0)。
ダイヤル方法：電話の契約がプッシュ回線の場合はトーン、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。
- 9 「閉じる」をクリックします。

Q プリンタの追加方法は？

A1 次の手順で追加してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
以降は、ローカルプリンタを追加するか、ネットワークプリンタを追加するかで手順が異なります。

ローカルプリンタの場合

- 4 「このコンピュータ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 5 「利用可能なポート」の「LPT1:」をチェックし、「次へ」をクリックします (通常は LPT1 ですが、空いていない場合は別のポートを選択します)。
- 6 「製造元」からプリンタメーカーを、「プリンタ」から該当するプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

- ▶ プリンタにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから「ディスク使用」をクリックし、該当するプリンタを選択します。

- 7 「プリンタ名」でプリンタの名前を付け、「次へ」をクリックします。すでにほかのプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 プリンタを共有しない場合は、「共有しない」をクリックし、「次へ」をクリックします。共有する場合は「共有する」をクリックし、「共有名」を付け、「次へ」をクリックします。
- 9 テストページを印刷する場合は、「はい（推奨）」をクリックし、印刷しない場合は「いいえ」をクリックして、「完了」をクリックします。

ネットワークプリンタの場合

- 4 「ネットワークプリンタサーバー」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「プリンタの接続」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「共有プリンタ」からプリンタを選択し、「OK」をクリックします。
- 6 さらに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
- 7 「完了」をクリックします。

Q [CX] で光磁気ディスクを使用するには？

A PC カード（SCSI）接続の光磁気ディスクドライブを使用してください。

Q 光磁気ディスクドライブをスーパーフロッピー形式で使用するには？

A 光磁気ディスクドライブの設定は必要ありません。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットするには、「MO ディスクフォーマット」を使用してください。[TX][SL][ML] はブレインストールされています。[CL][CX] はインストールが必要です（→ P.39）。なお、「MO ディスクフォーマット」は、SCSI 規格 / ATAPI 規格の光磁気ディスクドライブで使用できます（[CL][CX] は SCSI 規格のみ）。

Q 親指シフトキーボード（FMV-KB211）を使用するには？

A 次の手順で設定してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「コントロールパネル」ウィンドウの「キーボード」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「全般」タブの「変更」をクリックします。
- 4 「すべてのデバイスを表示」をクリックし、「モデル」から「富士通 FMV 親指シフトキーボード」を選択して、「OK」をクリックします。
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。
- 6 「コピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
c:\support\i386
- 7 「閉じる」をクリックします。
- 8 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

Q キーボードの NumLock がオンの状態で、WindowsNT を起動する方法は？

A 次の手順で設定してください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

regedt32

- 3 「ローカルマシン上の HKEY_CURRENT_USER」ウィンドウをアクティブにし、次のレジストリに移動します。

「HKEY_CURRENT_USER¥Control Panel¥Keyboard」

- 4 「InitialKeyboardIndicators」をダブルクリックします。
- 5 「文字列」に「2」を入力し、「OK」をクリックします。
- 6 「レジストリ」メニュー→「レジストリエディタの終了」の順にクリックします。

重要

- ▶ レジストリの変更時に誤った設定を行うと、本パソコンが起動できなくなることがあります。変更するときは、十分に注意してください。

Q Windows95 や MS-DOS のように、パソコン同士をシリアルケーブルで接続してデータのやりとりができますか？

A RAS (Remote Access Service) の機能を使うことによって、シリアルケーブル接続でのデータのやりとりが可能です。

「Q: [モデムの追加方法は？](#)」(→ P.48) に従ってモデムの追加を行います。このとき、「製造元」から「(標準のモデムドライバ)」を、「モデル」から「シリアルケーブル PC-PC 接続」を選択してください。

Q ログオン時のパスワードに、大文字、小文字の区別はありますか？

A あります。

Q 自動ログオン (パスワード入力なしでログオンすること) の設定方法は？

A 次の手順で設定してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

regedt32

- 4 「ローカルマシン上の HKEY_LOCAL_MACHINE」ウィンドウをアクティブにし、以下のレジストリに移動します。

「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥Winlogon」

- 5 「AutoAdminLogon」をダブルクリックします。
- 6 「文字列」の値を「1」に変更し、「OK」をクリックします。
- 7 「DefaultPassword」をダブルクリックします。
- 8 「文字列」に DefaultUserName の下にリストされたユーザーのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
- 9 「レジストリ」メニュー→「レジストリエディタの終了」の順にクリックします。

重要

- ▶ 手順 8 でパスワードを設定しない場合は、次のログオン時のみ自動ログオンできません。
- ▶ レジストリの変更時に誤った設定を行うと、本パソコンが起動できなくなることがあります。変更するときは、十分に注意してください。
- ▶ 手順 5 および手順 7 のレジストリの値がない場合は、「編集」メニュー→「値の追加」の順にクリックし、それぞれ次のように入力して、「OK」をクリックします。
 - 手順 5
値の名前：AutoAdminLogon
データタイプ：REG_SZ
 - 手順 7
値の名前：DefaultPassword
データタイプ：REG_SZ
- ▶ ネットワーク環境において、WindowsNT 4.0 の自動ログオン機能を使用する場合、本パソコン起動時にサーバーに接続できないことがあります。この場合は、サーバーへの再接続を行ってください。
- ▶ 自動ログオン機能を使用してネットワークに接続した場合、正規ユーザー以外がネットワークにログインすることが可能になります。セキュリティ上の問題が発生する場合、自動ログオン機能を使用しないでください。

Q オンラインヘルプやエラーメッセージの対処方法を参照しても原因がわからない

A 本パソコンでは、次のパソコン診断アプリケーションを用意しています。

FM Advisor

FM Advisor の使用方法是次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「FM Advisor」→「FM Advisor」の順にクリックします。

調査結果が表示されます。

FMV 診断

FMV 診断の使用方法是次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「FMV 診断」の順にクリックします。

あとはメッセージに従って操作してください。

POINT

- ▶ 起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。
- ▶ スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- ▶ フロッピーディスクドライブを診断する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをセットしてください。
- ▶ CD-ROM ドライブを診断する場合は、お手持ちの CD-ROM をセットしてください。

Q 「レジストリクォータ不足」の警告(「システムのレジストリクォータが不足しています。レジストリクォータを増やすには、「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」を起動して「仮想メモリ」をクリックしてください。)」が表示されたら？

A 次の手順で設定してください。

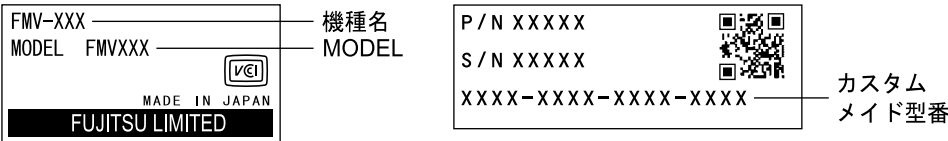
- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
 - 2 実行中のアプリケーションを終了します。
 - 3 「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
 - 4 「パフォーマンス」タブをクリックし、仮想メモリの「変更」をクリックします。
 - 5 「最大レジストリサイズ (MB)」に「19」と入力し、「OK」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
 - 6 「OK」をクリックします。
 - 7 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。
- 操作後も上記のメッセージが表示される場合は、「最大レジストリサイズ (MB)」を「20」以上に設定してください。

2 それでも解決できないときは

下記の連絡先にお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名 / MODEL / カスタムメイド型番を確認し、次のページのシートに環境とトラブル状況などを記入してください。

機種名 / MODEL / カスタムメイド型番の表記場所

パソコン本体背面のラベルに記載されています。



連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	弊社パーソナルエコーセンター またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	FM インフォメーションサービス
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	本書の冒頭に記載されている「 お問い合わせ一覧 」 (→ P.5)

： パーソナルエコーセンターと FM インフォメーションサービスの連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス (カタログ、Q&A 情報)	043-299-3642 (千葉) 06-6949-3270 (大阪)
インターネット (製品の技術情報、Q&A 情報)	富士通パソコンホームページ FM WORLD http://www.fmworld.net/
FM シリーズの音声による Q&A 情報	FM インフォメーションテレホンガイド 0120-89-2235

お問い合わせ前の確認シート

お客様の環境

お使いの パソコンの 機種は？	機種名：FMV-	MODEL：FMV
	カスタムメイド型番：	
	購入日：	購入店：

メモリの容量は？	本体標準： MB	
	増設： MB	[メーカー：] [型番：]

増設した 周辺機器は？	種類	型番号	メーカー

お使いの ソフトウェアは？	ソフトウェア名	バージョン/レベル	メーカー
	Windows NT	4.00 (Service Pack)	-

トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに 起こりましたか？	
エラーメッセージは 表示されましたか？ その内容は？	
以前は問題なく 動作していましたか？	・ 以前は動作した ・ 今回初めて試した ・ 以前から動作しない

第 5 章 技術情報

ファイルシステムの変換方法や留意事項などについて説明しています。

1	その他の留意事項	58
2	ファイルシステムの変換	66

1 その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

WindowsNT の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、「c:\support¥i386」を指定してください。

重 要

- ▶ 「C:\Support¥i386」フォルダは削除しないでください。削除すると、ネットワークコンポーネントの追加ができなくなります。

本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン/レベルのソフトウェア(アプリケーション、ドライバ)を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。

また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

他の OS を使うには

他の OS を使うには、いくつかの設定を行う必要があります。また機種により使用できない OS もあります。詳しくは、富士通パソコンホームページ FM WORLD (<http://www.fmwORLD.net/>) をご覧ください。

なお、インターネットをご利用になれない場合は、ご購入元にご確認ください。

Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。

バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください(→ P.42)。

ディスプレイドライバ

- 解像度、色数、リフレッシュレートの変更を行い、「この新しい設定が正しいかどうかテストしていません。」という警告メッセージが表示された場合は、必ず「キャンセル」をクリックし、テストを行ってください。
- 本ディスプレイドライバは、Windows NT Service Pack6a 上で動作します。
- グラフィック性能は、環境設定および使用するアプリケーションによって異なります。
- 解像度を変更した場合、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出すことがあります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、解像度を元に戻してください。

- お使いになるディスプレイや、解像度の設定によっては、CAD 系アプリケーションなどで縦線と横線の太さが異なって見えることがあります。設定を調整して使用してください。なお、正常に表示されない場合は、色数を 256 色または 16,777,216 色に設定してください。
- DirectX のサポートは、DirectX3 の DirectDraw のみです。
- [ML] の場合、お使いのモニタによってはドライバのインストールが正常にできないことがあります。この場合は、「ドライバズ CD」内の「Update」フォルダの「ATI RAGE XL/LT PRO for Windows NT 4.0 Ver.4.00.1381.1084」ドライバをお使いになるか、または BNC ケーブルで接続してお使いください。
- [TX] FMV-6800SL5 [ML] の場合、OpenGL のハードウェアアクセラレーションは 65536 色または True Color のみサポートしています。
- [SL] (FMV-6800SL5 を除く) [CL] [CX] でマウスカーソルにハードウェアカーソルを使用している場合、カーソルが変形する瞬間に点滅することがあります。動作上問題ありませんので、そのまま使用してください。
- [SL] (FMV-6800SL5 を除く) [CL] [CX] で複数の動画を同時に再生しないでください。表示が乱れる場合があります。

ディスクアドミニストレータ

ディスクアドミニストレータがディスクにアクセスできるようにするために、初めてディスクアドミニストレータを起動したとき、ディスクに署名を書き込む必要があります。次の手順で署名を書き込んでください。

- 1** ディスクアドミニストレータを起動すると、「ディスクアドミニストレータ」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」をクリックします。
「確認」ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 「はい」をクリックします。
ディスクに署名が書き込まれ、ディスクアドミニストレータでディスクをアクセスできるようになります。

Windows NT 4.0 Service Pack6a に関する留意事項

- Windows NT 4.0 Service Pack6a をインストールした環境に新しいコンポーネントをインストールすると、正常に動作しない場合があります。
これは、追加したコンポーネントのファイルが、Service Pack6a のコンポーネントのファイルと異なる場合があるためです。たとえば、Service Pack6a をインストール後、ネットワークを組み込んだときに、サーバーサービスが正常に動作しなくなる現象が確認されています。原因は、「C:\¥Support¥1386」からインストールされたネットワークモジュールが、Service Pack6a のネットワークモジュールと異なるためです。このような場合は、再度 Service Pack6a をインストールする必要があります。
詳細は、「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM の説明をご覧ください。

- ネットワークがインストールされていない環境に Service Pack6a をインストールしたあと、フォントやマルチメディアドライバなどを追加する際に「参照」をクリックすると、WindowsNT がインストールされているドライブしか表示されない場合があります。
インストール元がフロッピーディスクまたは CD-ROM の場合は WindowsNT がインストールされているドライブに適切なフォルダを作成し、このフォルダにインストールするドライバやファイルをあらかじめコピーしてからインストールしてください。
なお、「マルチメディア」の「ドライバのインストール」では、フルパスを入力してインストールすることもできます。
- シャットダウン時またはログオフ時、次のエラーメッセージが表示されることがありますが、動作に問題はありせん。
「ウィンドウステーションがシャットダウン中であるためアプリケーションが初期化に失敗しました。」
このメッセージが表示されたあとにログオンすると、日本語入力システムとして MS-IME97 を使用している場合、下記の現象が起きることがあります。なお、文字入力は正常に行えます。
 - ・ MS-IME97 のツールバーを「タスクバーに入れる」に設定していると、「日本語入力インジケータ」が表示されなくなることがあります。
「日本語入力インジケータ」を表示させるには、MS-IME97 を再度オンにしてください。
 - ・ MS-IME97 のツールバーを「ドッキング可能」に設定していても、ドッキング機能が有効にならないことがあります。
- 「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブで、スクリーンセーバーとして「チャンネルスクリーンセーバー」を指定しないでください。アプリケーションエラーが発生します。
- ソフトウェアを使用するときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。
パフォーマンスモニタ：perfmon.exe -DLL が見つかりません。
ダイナミック リンク ライブラリ snmpapi.dll が指定されたパス
C:¥WINNT¥system32;.¥C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT¥system;
C:¥WINNT;C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT に見つかりません。
この場合、次の方法で回避できます。
 - ・ ネットワークプロトコルに「TCP/IP プロトコル」を追加する。
 - ・ 「Windows NT Service Pack6a Disc1」内の「¥I386¥Snmpapi.dll」を「C:¥Winnt¥System32」にコピーする。
- イベントビューアにエラーが登録される場合について
本ワークステーションへのログオン時、「イベントビューア」に以下のエラーが登録される場合があります。この場合、下記に記載してあるいずれかの方法にて回避してください。
イベント ID：7001
ソース：Service Control Manager
種類：エラー
説明：Protected Storage サービスは次のエラーのために開始できなかった Remote Procedure Call (RPC) Service サービスに依存します：
サービスは開始後に開始待ち状態でハングしました。
イベント ID：7022
ソース：Service Control Manager
種類：エラー
説明：Remote Procedure Call (RPC) Service サービスは開始時にハングしました。

- 回避方法
- 1. IPX プロトコルを削除する。
IPXプロトコルを使用していない場合は以下の手順に従いIPXプロトコルを削除します。
 - 1 「ネットワークコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
 - 2 「プロトコル」タブをクリックし、「ネットワークプロトコル」から「NWLink IPX/SPX 互換トランスポート」を選択し「削除」ボタンをクリックします。
 - 3 「はい」をクリックします。
- 2. TCP/IP プロトコルをインストールし、TCP/IP プロトコルを使用する。
- 3. DCOMCNFG の既定のプロトコルタブで NetBEUI の優先順位を上げる。
 - 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
 - 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
dcomcnfg
「分散 COM の構成のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
 - 3 「既定のプロトコル」タブを選択し、「DCOM プロトコル」から「Connection-oriented NetBEUI」を選択します。
 - 4 「Connection-oriented NetBEUI」が「Datagram IPX」より上に表示されるまで「上へ」をクリックします。
 - 5 「OK」をクリックします。

ダイヤルアップ接続設定後に発生する問題

Internet Explorer 起動時に、インターネット接続ウィザードのセットアップオプションで「新しいインターネットアカウントにサインアップします（電話回線はモデムに接続されています）」を選択してダイヤルアップ設定を行うと、WindowsNT 起動時に次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「1 つ以上のサービスまたはドライバがシステム起動時にエラーになりました。」

詳しくはイベントビューアを使用してイベントログを確認してください。」

このときイベントログに「システム接続されたデバイスが機能していません。」という内容のエラーが記録されます。

このエラーメッセージを表示させないようにするためには、Service Pack6a を再インストールしてください。

WindowsNT での省電力モード

WindowsNT では、省電力モードをサポートしていません。

ビデオ CD をお使いになる場合

本パソコンでビデオ CD をお使いになる場合は、媒体（ビデオ CD など）をセットしていない状態で本パソコンを起動後、ビデオ CD をセットして再生してください。

光磁気ディスクドライブ増設時の留意事項

光磁気ディスクドライブを増設した場合は、「MO ディスクフォーマッタ」でドライブの割り当てを行ってください。「MO ディスクフォーマッタ」については、「ドライバズ CD」内の「¥Nt40¥Moformat¥Readme.txt」をご覧ください。

スーパーフロッピー形式の光磁気ディスク

SCSI カードなどに添付されているフォーマッタを使用して、光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットした場合、WindowsNT で認識できないことがあります。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットする場合は、「MO ディスクフォーマッタ」を使用してください(→ P.50)。

ネットワーク使用時の留意事項

次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。

- 2 枚の LAN カード
- パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード

LAN の設定を変更する

LAN の設定を変更する場合は、WindowsNT を再起動後、使用環境に合わせて変更してください。また、LAN の設定を変更するには、LAN ケーブルが接続されている必要があります。設定する値については、ネットワーク管理者にご確認ください。

- ハブユニットの **Link ランプが点灯しない、通信できない、通信が異常に遅い場合**
ハブユニットの仕様や設定に合わせてアダプタの設定を変更してください。

Intel(R) PROSet で「Speed」と「Duplex」、または「Link Speed & Duplex」を「Auto Detect」からハブユニットに合った通信速度に変更してください。

重要

- ▶ Intel(R) PROSet 起動前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ▶ Intel(R) PROSet の「Support」タブは使用できません。

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。

2 「Advanced」タブの「Setting」で変更する項目をクリックし、「Value」に値を指定します。

- [TX][SL][CL][CX] の場合
 - ・ Speed：伝送路速度を指定します。指定しない場合は自動認識で動作します。
10Mbps (10 BASE-T)
100Mbps (100 BASE-TX)
 - ・ Duplex：通信方式を指定します。指定しない場合は自動認識で動作します。
Half-Duplex (半二重モード)
Full-Duplex (全二重モード)
- [ML] の場合
 - ・ Link Speed & Duplex：「Setting」の「Link Speed & Duplex」をクリックし、「Value」から通信速度 / 通信方式を指定します。
100Mbps/Full Duplex ... 100Mbps の速度で、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。
100Mbps/Half Duplex ... 100Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。

10Mbps/Full Duplex ... 10Mbps で通信を行い、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。

10Mbps/Half Duplex ... 10Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。

Auto Detect ... ハブユニットと通信を行い、「通信速度」「通信方式」を自動的に決定します。

POINT

- ▶ 全二重モードに設定する場合、ハブユニット側も全二重モードに設定する必要があります。

■ ローカルアドレス

ローカルアドレスを使用する場合は、Intel(R) PROSet の「Advanced」タブの「Setting」で「Locally Administered Address」を変更してください。

重 要

- ▶ Intel(R) PROSet 起動前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ▶ Intel(R) PROSet の「Support」タブは使用できません。

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。

2 「Advanced」タブの「Setting」で「Locally Administered Address」をクリックし、「Value」に値を指定します。

「Value」には、「02」で始まる 16 進 12 桁を入力してください。グローバルアドレスに戻したい場合は「Restore Default」をクリックしてください。

プリンタ関連の留意事項

■ FMLBP シリーズ、FMPPR シリーズをお使いの場合

デバイスフォントの白色を使用した場合、印刷結果が画面と異なる場合があります。白色で印刷する場合は、デバイスフォント以外で印刷してください。

■ FMLBP225PS、FMLBP211PS をお使いの場合

- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ドキュメントのオプション」内の「プリンタの機能」にある「標準に戻す」は機能しません（クリックしても、変更前の設定状態には戻りません）。
- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ハーフトーンカラーの調整」で「明るさ」や「コントラスト」などを調整しても、印刷には反映されません。
- 用紙の種類を「A4 横」のような「××横」に設定しても、正しく印刷できません。このようなデータを印刷する場合は、用紙の種類で「A4」印刷の向きを「横」のようにして印刷してください。

■ 任意の用紙サイズを設定する場合

富士通 FM シリーズ用シリアルプリンタでフォームを使用する場合、使用できるフォームのサイズはそれぞれのドライバによって次の範囲となっています。この範囲外のもの使用できません。なお、下記のシリアルプリンタのすべてについて動作を保証するものではありません。

● 用紙サイズの設定

プリンタの「ファイル」メニュー→「サーバのプロパティ」の順にクリックし、「用紙」タブの「新しい用紙を作成する」をチェックして作成します。任意の用紙サイズを設定できます。

詳細については、WindowsNT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

幅:50 ~ 345.4mm(1.79 ~ 13.6 インチ)高さ:50 ~ 420.0mm(1.79 ~ 16.5 インチ)のドライバ
(136 桁プリンタ)

「FUJITSU FMPR 180」	「FUJITSU FMPR 180 (Color)」
「FUJITSU FMPR-353G2」	「FUJITSU FMPR-353A2」
「FUJITSU FMPR-361」	「FUJITSU FMPR-372」
「FUJITSU FMPR-671」	「FUJITSU FMPR-654」
「FUJITSU FMPR-359F1」	「FUJITSU FMPR-455」
「FUJITSU FMPR-456」	「FUJITSU FMPR-371A」
「FUJITSU FMPR-374」	「FUJITSU FMPR-366 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-373 (Color)」	「FUJITSU FMPR-366 (Color)」
「FUJITSU FMLP-351」	「FUJITSU FMPR-373 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-672」	

幅:50 ~ 203.2mm (1.79 ~ 8 インチ) 高さ:50 ~ 420.0mm (1.79 ~ 16.5 インチ) のドライバ
(80 桁プリンタ)

「FUJITSU FMPR-302G2」	「FUJITSU FMPR-302A2」
「FUJITSU FMPR-204B」	「FUJITSU FMPR-204W」
「FUJITSU FMPR-101W」	「FUJITSU FMPR-101B」
「FUJITSU FMPR-102G」	「FUJITSU FMPR-601」
「FUJITSU FMPR-303G」	「FUJITSU FMJP-101G」
「FUJITSU FMPR-221G」	

幅:50 ~ 420.0mm(1.79 ~ 16.5 インチ)高さ:50 ~ 420.0mm(1.79 ~ 16.5 インチ)のドライバ
(136 桁プリンタ)

「FUJITSU FMPR 360」	「FUJITSU FMPR 360 (Color)」
「FUJITSU FMJP-211」	

幅:25.4 ~ 345.4mm (1 ~ 13.6 インチ) 高さ:25.4 ~ 558.8mm (1 ~ 22 インチ) のドライバ

(ESC/P シーケンス)

「FUJITSU ESC/P」	「FUJITSU FMPR-375E」
「FUJITSU FMLP-371E」	「FUJITSU FMP-PR121G」

キーボード関連の留意事項

■ 親指シフトキーボード

- 親指シフトキーボード特有のキー（「～」, 「『』」, 「『』」, 「『』」など）は、これらの文字の出力をサポートしたかな漢字モジュールを使用しなければ入力できません。
- IME 起動時に数字、記号キーを押すと、IME の入力モードが英数に変わります。一度【カタカナ / ひらがな】キーを押してください。
- WindowsNT 上で動作する MS-DOS アプリケーションでは、親指シフトキーボードでの日本語入力はできません。

■ 起動時のキーボード入力

WindowsNT 起動時にキーボードから入力を行うと、イベントビューアに「ソース：i8042prt/ イベント ID：19」のエラーが記載されることがあります。しかし、本パソコンを使用するうえで問題はありません。

PC カード（[CX]）

PC カードは、パソコン本体の電源を入れる前にセットしてください。

PC カードをお使いになる場合は、ドライバのインストールが必要になることがあります。

ドライバのインストール方法などの詳細は、PC カードに添付のマニュアルをご覧ください。

■ CardBus 対応の PC カード

WindowsNT 4.0 では、CardBus 対応の PC カードは使用できません。

CD-ROM の取り出し

CD-ROM ドライブの EJECT ボタンを押しても、CD-ROM が取り出せないことがあります。その場合は、次の手順で CD-ROM を取り出してください。

- 1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックします。

FM Advisor の CPU 情報表示

FM Advisor の「CPU 情報」の表示において、CPU 名・CPU クロックが正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

日本語入力システムが 2 つ以上組み込まれている場合

MS-IME97 以外の日本語入力システムが組み込まれている場合、一度ログオフしてから再度ログオンすると、画面に日本語入力システムのツールバーが 2 つ表示されることがあります。標準に設定されていない日本語入力システム（【漢字】キーを押しても、アクティブにならない）を操作しなければ問題ありませんが、操作を行った場合、画面上にウィンドウの跡が残ることがあります。この場合は、WindowsNT を再起動してください。

SCSI ドライバの更新（カスタムメイドオプション）

SCSI ドライバを最新のものに更新できます。更新方法は、SCSI カードに添付の取扱説明書をご覧ください。

2 ファイルシステムの変換

本パソコンのハードディスク上のシステムドライブは、FAT ファイルシステムでフォーマットされています。

FAT から NTFS に変換することで、セキュリティや信頼性を強化できます。

ファイルシステムを NTFS に変換する方法は、次のとおりです。

POINT

- ▶ NTFS に変換した場合、WindowsNT 4.0、Windows2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。

	WindowsNT 4.0		Windows2000	Windows98	Windows95 OSR2 以降
	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前			
WindowsNT の NTFS	○	○	○	×	×
Windows2000 の NTFS	○	×	○	×	×
FAT32	×	×	○	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

- ▶ すでに作成されているショートカットから、アプリケーションが起動できなくなる場合があります。このときは、ショートカットを削除し、再度作成してください。

- 1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。
- 3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
convert n: /fs:ntfs /v
```

(n には、ファイルシステムを変換するドライブ名を指定します)
ブートパーティションを変換する場合は、次のメッセージが表示されます(ブートパーティションが C ドライブの場合)。
「ファイルシステムの種類は FAT です。
CONVERT で C: ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますが(Y/N)?」
- 4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押したあと、WindowsNT を再起動します。
このとき、WindowsNT は 2 回再起動します。

索引

記号

3 モードフロッピーディスク ドライバのインストール	39
-------------------------------------	----

A

Acrobat Reader	15, 58
- のインストール	42

C

CardBus 対応の PC カード	65
CD-ROM	17
- の取り出し	65

D

DMA	18
- の設定	41

F

FAT	18, 66
FM Advisor	52
- の CPU 情報表示	65
- のインストール	42
FMKEEPER	16
- のインストール	45
FM-Menu	16
- のインストール	45
FMV 診断	15, 52
- のインストール	42

I

Internet Explorer 5.0	16
- のインストール	43
Internet Explorer 5.01	15

L

LAN	
- ドライバのインストール	35, 38
- の設定	62

M

MODEL	54
MO ディスクフォーマッタ	15, 50
MS-IME97	15
MS-IME98	16
- のインストール	43

N

NIFTY MANAGER	16
- のインストール	46
NTFS	18, 66
NumLock	51

P

Packet Protect	16
PC カード	65
Power MANagement for Windows (PMAN)	16, 26
- のインストール	46

Q

Q&A	48
-----------	----

S

SCSI	17
- ドライバのインストール	34, 36
- ドライバの更新	65

T

TCP/IP プロトコルの追加	25
-----------------------	----

U

Ultra DMA	18
- の設定	41

V

VirusScan	16, 20
- のインストール	44

W

WindowsNT	15
- Service Pack6a のインストール.....	40
- Service Pack6a の留意事項	59
- セットアップ.....	10
Windows 環境調査ツール (FM Advisor)	15

あ

色数	23
親指シフトキーボード.....	65
- を使用する.....	50

か

解像度	23
カスタムメイド型番.....	54
画面の設定.....	23
キーボード.....	17
- の留意事項.....	65
機種名	54
コンピュータウイルス.....	20
- の被害届け出.....	21
- を発見した場合.....	21

さ

サウンド	
- ドライバのインストール.....	35
自動ログオン.....	51
使用許諾契約.....	11
省電力モード.....	61
情報サービス.....	54
情報処理振興事業協会.....	21
シリアルケーブル接続.....	51
スーパーフロッピー形式の光磁気ディスク.....	62
セキュリティ LAN の設定.....	32

た

ダイヤルアップ接続.....	61
他の OS	58
ディスクアドミニストレータ.....	59
ディスプレイ.....	17
- ドライバのインストール.....	35, 36

電源切断用 HAL	15
添付ソフト	16
ドライブ構成	18
トラブル	48

な

ネットワーク	17
- 使用時の留意事項.....	62
- の設定.....	25

は

はじめよう！インターネット (@nifty)	16
- のインストール.....	45
パスワード	51
光磁気ディスク	50
- ドライバのインストール.....	39
- ドライブをスーパーフロッピー形式で使用する.....	50
ビデオ CD	61
ファイルシステム	18
ファイルシステムの変換.....	66
プリンタ	
- の追加方法.....	49
- の留意事項.....	63
プレインストールソフト.....	15
フロッピーディスク	17

ま

モデムの追加方法	48
----------------	----

や

ユーザー登録	13
--------------	----

ら

リカバリ	30
- CD-ROM 起動ディスクのコピー.....	13
連絡先	54

FMV-6866TX5

FMV-6800SL5/6733SL5/6667SL5/6600SL5c/6566SL5c

FMV-6667CL5/6600CL5c/6566CL5c

FMV-6667CX5/6566CX5c

FMV-5533ML5

WindowsNT[®] 4.0 モデル

ソフトウェアガイド

B5FH-0431-01-00

発 行 日 2000 年 5 月

発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。